



【校長散歩（9）】頑張る『南高生』を見たくて

こんにちは。岐阜県立大垣南高等学校長の 種田 昭彦（おいだ あきひこ）です。

3月21日（土）、私は「イオンモール大垣」において開催された『夢のコンサート（オーケストラ部の演奏）』を見に出掛けてきました。



開演前から、オーケストラ部員のご家族、在校生、卒業生、教職員など、多くの人が集まっていました。そして開演時には、1階のフロアとともに2階の見学フロアにも、予想を上回る人がいました。

そうして始まった『夢のコンサート』。

部員の皆さんは、緊張しながらも準備した10曲を見事に演奏しました。クラシックからポップスまで、見に来てくれた子どもから大人までの全ての人たちが楽しめるように選曲していました。

その中には、オーケストラ部が今年度幾度となく演奏し、もう代表曲?!となった『マツケンサンバ』では、手拍子の観客と演奏者が一体となって盛り上がっていました。コンサートの終了後に顧問の先生から、今回のタイトル、企画・演出は全て部員が手掛けていたことを聞きました。

オーケストラ部の部員、顧問の皆様、本当にお疲れ様でした。そして、とても素晴らしい時間をありがとう。



まもなくすると、新入生が入部してきます。言うまでもなく、皆さんは一つ学年が上がります。本校の「オーケストラ部」に入部したくて本校への進学を決意した新入生も多々いることを聞いています。

皆さんには、【新入生が憧れる先輩】として、新年度のますます活躍を心から強く願っています。

また、3つの学年が揃って活動できる4月と5月、期間は短く限られていますが、『定期演奏会（5月）』に向けて【部員と顧問が一体】となって進まれることを心から強く願っています。

今回の『定期演奏会（5月）』は、本校オーケストラ部の創設者で、昨年ご逝去された牧野元校長先生の「哀悼演奏会」でもあると顧問の先生から聞いています。学校として出来る限りの支援を惜しみません。関係者の皆さん、よろしくお願いします。



写真・文 大垣南高等学校長の 種田昭彦（おいだ あきひこ）